

ひとみ

発行
相生市教育委員会
(人権教育推進室)
電話 23-7145
平成30年11月号
(第39号)

12月4日(火)～10日(月)は人権週間です

【子どもを取り巻く環境について】



青少年愛護条例が改正されました。これは近年、青少年の性を売り物にした新たな営業形態の出現や、SNS等を通じた児童ポルノ自画撮りの被害の増加、スマートフォンの普及によるインターネット利用環境の変化に伴い、青少年の健全な育成が阻害される恐れが増大していることが背景にあります。未来を担う青少年を心豊かにたくましく育むことは、私たち大人の願いであり、社会の責任です。以下は、青少年愛護条例の一部を紹介しています。子ども達が地域や家庭で安全安心に暮らせるために、私たちができることを考えていきたいですね。

主な改正点

○インターネット上の有害情報等からの 青少年の保護 (平成30年2月1日施行)

フィルタリングを
お願いします。



○児童ポルノ自画撮り勧誘行為の禁止 (平成30年4月1日施行)



誰かに相談しな
いと。

○JKビジネス(有害役務営業)に 関する規制 (平成30年10月1日施行)



うちのお店で
働かない？

【フィルタリング】インターネットで未成年にふさわしくない有害な情報に接続できなくすること。

【自画撮り】スマートフォン等のカメラ機能で、自身の写真や動画を撮影すること。

【JKビジネス】女子高生をJKと称し、生徒の性を売り物にする営業のこと。

※青少年愛護条例は、兵庫県のホームページで、「青少年愛護条例」を検索すると関連した資料を見ることができます。

まちの人権トピックス

ケータイ・スマホサミット

平成30年8月27日開催

市内の小・中学校から代表が集まり、自分たちのケータイ・スマホやインターネットとの関わり方をもとに、現状や問題点を話し合いました。そして、平成29年度に先輩たちが作った「相生市ケータイ・スマホルール3カ条」を校内でもっと広め、自分たちも周りの人も大切にしたい使い方ができるように、ルールを知ってもらうための動画を作成しました。

相生市ケータイ・スマホルール3カ条

人間関係について

『伝えたいことが伝わるか
考えて送信しよう』



時間について

『家でルールを決め
3時間以内にしよう』



危険防止について

『フィルタリングをかけ
個人情報を書かない
ようにしよう』



平成29年度作品

ポスターやチラシ作りは？

動画を作るのは？



【話し合いの様子】

どうしたら、ルールを知ってもらえるかな？

小道具も作ろう。

ラインと同じ画面にしよう。



【動画撮影準備の様子】

ルールを守ることの
大切さが伝わるかな？



【動画撮影の様子】

みんなが安全・安心に使えるようにしたいな。

スマートフォンなどのインターネット接続機器は、生活する上で非常に便利なツールとなっています。子ども達が、情報化社会の中で豊かに生活を送ることができるように、機器活用の力、危険回避の力、ルールを守ろうとする意識などを高めていくことが求められています。



12月4日～10日は、家庭対話ウィークです

家庭における親子関係の希薄化や家庭内のトラブルが社会問題として、新聞やテレビのニュースなどで報じられています。また、ケータイやスマートフォンなどの普及により、保護者が我が子の友人関係などを理解しにくい状況も進んでいます。

そこで、ご家庭における対話を充実していただき、温かい家族関係のもとで、家族の絆を深め、子どもたちの自己実現に向けて話す機会を大切にしたいと考えます。

将来の夢、進路のこと、友だち関係などについて、家族みんなの思いや考えを、伝え合える機会になるといいですね。



いじめ、SNSなどインターネット上のトラブルなど子ども達を取りまく環境はますます複雑になっています。子ども達がトラブルに巻き込まれた時、家庭が第一の相談場所・避難場所になるように、何でも話し合える雰囲気大切にしたいですね。



「まちかどじんけん特派員」からのお便り

「ある土曜日の午後」

雨が上がったのでウォーキングに行くことにし、いつものコースを歩いていると、下校している小学校の児童たちと出会いました。土曜日なのにも思いながら出会った児童に「お帰り。」と声をかけました。そして、公園方面に行くべく信号に差しかった時に、児童たちとまた一緒になりました。信号が青になると6年生と思われる交通安全旗を持った児童が道路の中央に出て両手を広げ児童を誘導していました。ちょうど私も一緒に渡って道路の中央で彼と目が合ったので、「ありがとう。」と大きな声で声をかけました。彼はためらいもなく、「どうぞ。」と返事をしてくれました。私はニコッと笑って図書館の方へむかい、児童たちは別の方向へ帰って行きました。私は、一人になってとてもさわやかな気分になりました。彼の対応の柔軟さにびっくりしました。きっと、さまざまな学校生活の中で、上級生としての責任感やリーダー性を培っているのがよく分かるような気がしました。私にとってとても爽やかな気分させてくれたことにとても感謝しています。

市内在住 70代男性より



平成 30 年度 相生市内在学の児童・生徒による人権作品の紹介

★人権作文の部 特選受賞者と作品



だいすきなあおちゃん

双葉小学校 1年 難波 杏樹

わたしには、5さいとしたのいもうとがいます。8がつに2さいになったばかりです。

さいきんできるようになったことがあります。ことばがすこしずつはなせるようになってきました。いろんなおうたがうたえるようになってきました。おえかきもだいすきです。すぐくいいしんぼうです。なんでもじぶんのものにしたりします。ままにおこられたら、すぐくおおきなこえでなきます。なんでもわたしのまねがしたいみたいです。わたしのふくをきて、「どう?かわいい?」といいながら、くるくるまわります。おにんぎょうをだっこして、よしよししています。そんなあおちゃんのぜんぶがかわいくてしかたがありません。ときにはわがまますぎてこまってしまうこともあります。

そんなときには、あおちゃんのきもちをかんがえて、どうすればあおちゃんはいれいかな、とかんがえてみます。それで、あおちゃんがにこにこして、「ねえね、すき。」と、ほっぺをくっつけてきたときは とてもうれいきもちで、むねがいっぱいになります。

9がつには、あたらしくおとうとがうまれてきます。おとうとがうまれてきたら、ままもあかちゃんのおせわでたいへんだとおもうので、わたしがあおちゃんのちいさいおかあさんになりたいです。

ふれ愛コンサート

日時 12月16日(日)

14:30~16:00

場所 相生市文化会館

扶桑電通なぎさホール

(大ホール) 入場無料

出演 ちひろ(歌手)

内容 「明るいほうへ〜金子みすゞの心とともに〜」と題し、私たちが忘れていたものを思い

起こさせてくれる心温まるコンサートです。コンサートや作曲活動、ラジオ番組出演と幅広く活動しています。



特選受賞者

小学校

学 校	学年	氏 名	作 品 名
双葉	1	難波杏樹	だいすきなあおちゃん
中央	2	稲葉柚奈	ありがとう
中央	3	宮内友彩	ひきょうなことはゆるせないこと
中央	4	松村尚樹	ともにかがやいて
若狭野	5	岡野陽菜乃	恩送り
那波	6	鍛冶楓太	おばあちゃんとボタン

中学校・高等学校

学 校	学年	氏 名	作 品 名
双葉	1	矢倉圭恭	ぼくの居場所
矢野川	1	奥田拓馬	人と人とのつながり
那波	2	土居聖良	今、自分にできる事
矢野川	3	竹山美空	戦争は最大の差別
相生高	1	矢形実紗	差別・偏見の目に気づいて
相生産(全)高	2	前東ことり	障がい者と一緒に働くこと

ぼくの居場所

双葉中学校 一年 矢倉 圭恭

「ドスッ。」鈍い音と同時に、痛いというよりやっってしまったという思いの方が先によぎった。

ぼくは、夏休みに入ったばかりの野球の練習中に、バッティングマシンの暴投をよけきれず右手の中指と人差し指の二本を骨折してしまった。「ただ痛いだけで折れていませんように」と病院に行く車の中で祈り続けたけれど、祈りは通じず全治二週間という最悪の診断を受けた。野球ができないだけでなく鉛筆も握れないので宿題もできない。ピアノも弾くことができない。こうして、不安と絶望しかない二週間を過ごすことになった。

週四回の野球の練習も行ってもやることがないのでつまらないだけだから休もうと思ったけど、母に行くように言われたので仕方なく行くことにした。ランニングだけチームのみんなとした。しかし、キャッチボールもバッティングもやっぱりできなかった。つまらない帰りたいと思った。ぼんやりキャッチボールを見ていたら受け損なったボールがぼくの方に転がってきた。左手で拾って投げにくかったけど投げ返した。すると受け取ったチームメイトがニコッと笑って「矢倉くありがとう。」とボールのお返しがきた。なんとも言えないムズムズとした気持ちだった。それからぼくは取り損なったボールやファールボールをひたすら取りに行った。その時、初めて気がついた。みんな練習をしているからボールを取りにいけないんだ。だから練習が終わったらみんな探して拾い集めていたんだということ。ぼくが小学生の頃に入っていた少年野球の監督がよく言っていた言葉がある。

「人が嫌がることやしんどいことをすすんでやりなさい。自然にできる人になりなさい。」という言葉だ。今、この言葉の意味をぼくは気づくのが遅かったけど理解できた。それから次の練習からファールボールやそれたボールを取に行く役に徹した。野球道具や荷物運びも進んでやった。ぼくの居場所を見つけるために。

やることもないから休もうと思った自分が恥ずかしいと思った。ケガをした自分には居場所もないし、ただじゃま者でしかないと思っていたからだ。

ケガをして気づいたことがある。それは、二週間が経ち、大好きな野球ができる喜びとこの世の中には役に立たない人なんて誰もいないということだ。ぼくはケガをして指が使えなかった。だけど、今は元に戻って動かすことができる。両方の立場を経験することができた。病気や事故で指を失くしてしまった人がいるかもしれない。もし、ぼくがケガをした時のように役に立たないからと下を向いている人がいるなら言いたい。どんな小さいことでも役に立つことがある。どんな些細なことでも誰かの役に立っている。ただ笑っていてくれるだけで緊張した雰囲気も和らぐ。骨折していた時、チームメイトはぼくのカバンを黙って持ってくれた。ケガをして役立たずと思っていた自分に「大丈夫か。」と声をかけてくれた。

役に立たないと思っているのは自分。もし、この先チームメイトが同じ思いをしたらぼくはこう言う。「ここに居場所はあるから、大丈夫。」



★人権ポスターの部 特選受賞者と作品



矢野小1年 相原力翔



双葉小2年 藤田善



中央小5年 田崎菜々美



中央小6年 三好七清



若狭野小3年 三木夢太郎



双葉小4年 身野ほのか



那波小6年 矢野桃々奈



那波中1年 松本恋幸



双葉中1年 毛利暖



那波中2年 小坂希咲



矢野川中2年 岡野菜乃花



双葉中3年 南渕友里



矢野川中3年 西脇未空



矢野川中3年 堀ノ内光夏

人権標語の部 入選受賞者と作品

花が咲く	その周りの人にも	笑顔咲く	相生小	5年	小林 美穂	
認めよう	違いは輝くオリジナル	色とりどりで	みんなハッピー	那波小	5年	青木 優歩
だいじょうぶ？	その一言が支えの手					
けがをして	気づいた	人のあたたかさ	次はぼくがあなたのためよう	双葉小	5年	中田 るな
やめようよ	あの子の笑顔	うばうこと！		若狭野小	5年	小林 紗久
助け合い	手と手をつないで	笑顔の輪		矢野小	5年	川本 理子
「なるほどな!!」	ちがいをみとめて	広がる世界		青葉台小	5年	谷林 真帆
大丈夫？	ただそれだけで救われる			中央小	5年	山本 恵太
ふみだそう	いじめを止める	その一歩		相生小	6年	和田 優里
伝えてほしいな君の気持ち	聞いてほしいな私の気持ち			那波小	6年	牧尾 拓海
言葉でつなげよう	みんなの笑顔	次はあなたにバトンをわたす		双葉小	6年	丸山 瑞誉
声かけで	君と僕の	幸せ広がる		若狭野小	6年	伊原 ひなた
あなたの手	さし出すだけで	幸せに		矢野小	6年	相原 美南
大丈夫！	あなたの味方は私です			青葉台小	6年	岡田 琴葉
				中央小	6年	三浦 妃菜乃

なぜやるの?	自分はされたら	いやなのに	那波中	1年	濱田 昂弥
思いやり	言葉や行動で	伝えよう	双葉中	1年	松井 大和
広げよう	みんなの笑顔	自分から			
見直そう	あなたの言葉と	あなたの心	矢野川中	1年	吉田 麻央
その言葉	大事な人にも	いえますか	那波中	2年	田中 逸人
踏み出して	手をさしのべれば	未来は変わる	双葉中	2年	山田 大夢
やめようよ	見ているのに見ないふり	勇気を出して	矢野川中	2年	竹内 里緒
声かけよう	相手の笑顔	見えるまで	那波中	3年	寺坂 彩沙
「だめだよ」と注意するのも思いやり			双葉中	3年	柴田 彩華
あいさつが	心をつなぐ	パスワード	矢野川中	3年	前坂 美来
人と違う	それがどうした	すてきじゃない	相生高	1年	松岡 優太
まえむいて	きみのみかたは	そこにいる	相生産高(全1年)		船引 奏歩
はき出そう	ためこむ前に	その悩み	相生高	2年	石塚 耀太
いじめという	言葉自体を	無くしたい	相生高	2年	萬代 里菜
必要ない	そんな人なんて	1人もいない	相生産高(全2年)		寺坂 嵐
ちょっとした	軽い気持ち	が 傷つける	相生産高(全3年)		小林 真依
			相生産高(定4年)		井口 厳

人権クロスワードパズル

このクロスワードパズルは、すべてカタカナが入ります。タテ・ヨコのカギをヒントにパズルを解き、★印のついている4つの文字を並びかえて、クロスワードの答えを考えてください。

【 答 え 】 「〇〇〇〇」

共に生きる社会づくりに向けて、
相手を思いやる〇〇〇〇が、大切ですね。

【プレゼント】正解者の中から抽選で、「こころくん
カレンダー2019」を30名に進呈します。

【応募要領】はがきかFAXかメールで、以下のことを記載の上、応募ください。

①クロスワードの答え ②郵便番号 ③住所 ④名前 ⑤電話番号

⑥年齢 ⑦本誌へのご意見・ご感想

※応募の際に得ました個人情報につきましては、プレゼント発送以外では使用いたしません。

【しめきり】平成30年12月3日(月)《必着》

【応募先】〒678-0031 相生市旭1丁目3-18

相生市教育委員会人権教育推進室

電話 0791-23-7145

FAX 0791-23-7148

メール jinkenkyoiku@city.aioi.lg.jp

1			2		3
		4			
5	6				
			7	8	
9		10		11	12
13					



2019 こころくんカレンダー

《タテのカギ》

1. 戦争や争いがなくおだやかな様子のことです。
2. 一定の限られた地域や土地のことを言います。「〇〇〇〇的な豪雨」。
3. 医師や看護師や科学者などが仕事で着る衣服をこう呼びます。
4. 目を動かさないと見える範囲のことです。
6. 日本の国歌です。
8. 広くくぼ地に水がたまった所です。湖よりも小さいものを言います。
9. 川の流れの中で、崖から流れ落ちる場所のことです。
10. 髪をすく道具です。以前は髪飾りとしても使われていました。
12. 七夕祭に短冊に願いを書いて、〇〇に飾り付けます。

《ヨコのカギ》

1. 物事をうまくできないこと、不器用なことを言います。「上手」の反対を意味します。
4. 予期しないことに会った時の心の動揺のことです。英語で衝撃を意味します。「〇〇〇〇を受ける」「失恋の〇〇〇〇」
5. 映画などで主役を支える役のことを言います。
7. 社会や組織での立場や身分のことです。
9. たくさんのお金のことです。「〇〇〇な寄付金」
11. 今日の朝のことです。
13. 自分の思いや考えを伝えるために、手を挙げることです。